

# スリランカの大学生の言語学習ビリーフから 日本語教育の改善を考える

和田衣世

〔キーワード〕スリランカの大学生、言語学習ビリーフ、BALLI、日本語教育の改善

〔要旨〕

本稿は、これまで行われていなかったスリランカの日本語学習者を対象にした言語学習ビリーフ調査の報告である。調査はBALLIを用いて行われ、質問項目は①外国語学習の適性②言語学習の本質③言語学習の困難さ④学習とコミュニケーションストラテジー⑤言語学習の動機⑥教師の役割⑦教授法・教室活動⑧媒介語⑨言語学習と文化の関係についての9領域にわたる。調査の結果、スリランカの大学における日本語学習者は、コミュニケーション重視の教授法や教室活動、シラバスを望み、教師依存の傾向が強く、教師に強い信頼と期待を寄せているということが明らかになった。また、この調査の結果をもとに、スリランカの日本語教育の問題点と照らし合わせ、どのような改善が必要かを考察した。現実と学習者のビリーフにはギャップがあり、それを埋めていくことが今後のスリランカにおける日本語教育の改善の鍵になると思われる。

## 1. はじめに スリランカにおける日本語学習者の現状

スリランカの日本語学習者数は5,219人、そのうち中等教育レベルの学習者が4,241人で、全学習者数の約80%を占めている<sup>(1)</sup>。日本の中学校卒業資格と同等と考えられるOrdinary Level Examination (以下、Oレベル試験)と高校卒業資格試験であり大学入学資格試験でもあるAdvanced Level Examination (以下、Aレベル試験)の選択科目となっていることが中等教育レベルの学習者が多数を占める要因だと考えられる。Aレベル試験日本語科目の2005年の受験者数は406名で、アラビア語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、ヒンディ語、中国語などの主要現代外国語科目の中では、アラビア語につぐ受験者数である<sup>(2)(3)</sup>。

高等教育レベルでは、4大学が日本語教育を行っている<sup>(1)</sup>と報告されており、内2校(ケラニア大学、サバラガムワ大学)は、日本語を主専攻または主選択科目として設置し、中級シラバスを採用している<sup>(4)</sup>。

一方、民間機関では、寺院が行っている日本語コースなどの私塾が多いが、以前、在スリランカ日本大使館付属講座であったスリランカ日本語教育協会が、もっとも伝統があり信頼のおける日本語学校として社会的に広く認知されている。

学習者のほとんどを占める中等教育の統一教科書として、文法ではOレベル、Aレベルを通して『日本語初歩』(国際交流基金日本語国際センター編 1985)、読解ではAレベルにおいてこの国独自の読解教科書「Pupil's book for Japanese G.C.E.A/L」(Miyagishi & Kamura 1996)が指定されている。「Pupil's book for Japanese G.C.E.A/L」は、日本語の読解を通して文化や生活習慣などが学べるようになっており、内容は日本の食べもの、住宅、教育制度、茶道、歴史など多岐にわたる。主にこの2つの教科書がAレベル試験の出題範囲となっており、中等教育の段階でこの2つの教科書を終わらせ、試験にのぞむというのが中等教育レベル学習者の一般的な目標である。しかし、現実には、選択科目のひとつにすぎない日本語は、学校教育において学習時間数が定められておらず、結局は学校教育だけでは時間数不足で終わらせることができないため、各学生は学校で学べなかった分を私塾で補うというのが現在の傾向となっている。

高等教育レベルにおいて主専攻または主選択科目として日本語学習の継続を望む学生の大半は、Aレベル試験を経て、その結果によって前述の2校、ケラニア大学かサバラガムワ大学のどちらかに進学することが可能になる。

## 2. 本稿の目的

本稿はこれまで行われていなかったスリランカ人大学生の日本語学習者を対象に実施した言語学習ビリーフの調査報告である。その目的は調査結果からスリランカ人大学生の日本語学習者がどのような言語学習ビリーフを持っているかを明らかにすることである。また、スリランカ人大学生の言語学習ビリーフを知り、同時にスリランカの日本語教育の問題点と照らしあわせることによって、学習者の観点からどのような改善が必要であるのかを考察する。

## 3. 先行研究

ビリーフとは、学習における信念や信条、確信などをさす。Horwitz(1987)は、教授法や教室活動が学習者のビリーフと一致せず、授業が学習者の期待にできていない場合は、学習到達度が限られる可能性があるとして指摘している。また、ビリーフが学習者の習得や学習ストラテジーに影響を及ぼすとし、したがって、教師が学習者のビリーフを把握することが、重要であるとしている。

これまでに、さまざまな国や学習者のビリーフ調査報告や考察が行われている。Horwitz(1987)は自身が開発したBeliefs About Language Learning Inventory(BALLI)と呼ばれる質問紙を用いて、32人のESL学生に対し、外国語学習の適性(Foreign Language Aptitude)、言語学習の困難さ(The Difficulty of Language Learning)、言語学習の本質(the nature of Language Learning)、学習とコミュニケーションストラテジー(Learning and Communica-

tion Strategies) 言語学習の動機 ( Motivations ) の 5 領域にわたるピリーフ調査を行っている。また、Cotterall ( 1995 ) は、同じくESL学生139人に対し、学習者の自律性に関する質問紙調査を行った。その結果、言語学習ピリーフの要因を、教師の役割 ( The role of the teacher ) フィードバックの役割 ( Role of feedback ) 学習者の自律性 ( Learner independence ) 学習者の学習能力における自信 ( Learner confidence in study ability ) 言語学習の経験 ( Experience of language learning ) 学習の方法 ( Approach to studying ) の 6 つにまとめた。

学習者の出身国別や母語別のピリーフ調査報告を見てみると、木谷 ( 1998 ) は前述のHorwitzとCotterallの調査項目をもとに、極東ロシア 3 大学の大学生195人に調査を行い、極東ロシアの大学生のピリーフの特徴と傾向を明らかにした。板井 ( 2000 ) は、中国人学習者に適した教授法および教室活動を特定することを目的として、香港 4 大学の大学生316名および日本人教師10名、中国人教師 6 名に対して中国語版BALLIを実施している。その質問項目は言語学習の性質、コミュニケーション・ストラテジー、教師への要求、媒介語の 4 領域にわたる。若井・岩澤 ( 2004 ) は、ハンガリー人学習者307名および日本人教師15名、ハンガリー人教師 7 名を対象に調査を行い、ハンガリーの外国語教育の変遷と資格試験がどのように学習者のピリーフに影響を与えているかを考察し、また、学習者と教師のピリーフを比較して問題点を指摘している。また、片桐 ( 2005 ) はフィリピン大学ディリマン校の学習者156名に対し、教師の役割、教授法・教室活動について、言語学習の性質について、文字学習について、コミュニケーション志向について、言語学習の性質について、言語学習と文化の関係について、の 7 領域にわたるBALLIを用いて調査した。先行研究と重なる質問項目については、フィリピン人学習者とハンガリー人学習者、ロシア人学習者など他国の学習者のピリーフとを比較している。また、国別学習者対象ではないが、橋本 ( 1993 ) は、46名の学習者にBALLIアンケートを実施し、その結果を言語学習に対する適性、言語学習の難易度、言語学習の性質、コミュニケーションストラテジー、言語学習の動機の 5 領域にまとめている。そしてアンケート実施後、ピリーフをさらに意識化させるためにBALLI討論を行った。

## 4 . 調査

### 4.1 調査方法

調査はBALLI質問紙を用いて行った。質問は、外国語学習の適性 ( 7 項目 ) 言語学習の本質 ( 5 項目 ) 言語学習の困難さ ( 6 項目 ) 学習とコミュニケーションストラテジー ( 8 項目 ) 言語学習の動機 ( 4 項目 ) 教師の役割 ( 10 項目 ) 教授法・教室活動 ( 4 項目 ) 媒介語 ( 4 項目 ) 言語学習と文化の関係について ( 4 項目 ) の 9 領域52項目からなる。質問項目のうち、学習者のもつ外国語学習全般に関するピリーフの領域、すなわち外国語学習の適性、言語学習の本質、言語学習の困難さ、学習とコミュニケーションストラテジー、言語学習の動機の各領

域はHorwitz(1987)から採用した。また、この調査の目的である日本語教育の現状の改善を考察することを念頭に、教師の役割、教室活動・教授法、媒介語、言語学習と文化の関係についての項目を前述の各先行研究より集めた。そのほか、実際に教育現場に立つ筆者が、スリランカの日本語教育の現状を鑑み、6項目(項目番号34、43、48、49、51、52)を加えた。

## 4.2 調査対象

調査は主専攻または主要選択科目として日本語を学んでいるケラニア大学およびサバラガムワ大学の学生第2学年と第3学年の86人を対象に、2006年5月～7月にかけて行った。学習者の対象を大学生に絞ったのは、ケラニア大学が筆者の職場であるため調査の協力が得やすかったことと、現在、大学で主専攻および主選択科目として学んでいる学生は、中等教育レベルで同じシラバスを学び終え、また大学進学後、中級シラバスに進んでいるという、学習背景において比較的統一された学習グループであり、ピリーの傾向をつかみやすいと考えたためである。そのため、入学後間もない第1学年は調査対象からはずした。

## 4.3 調査結果

以下、各領域の調査の結果を述べる。回答形式は各項目において、強く賛成、賛成、どちらでもない、反対、強く反対の中から、調査対象者自身にもっともふさわしいものをそれぞれ一つだけ選択させた。調査結果の各表では、強く賛成、賛成、どちらでもない、反対、強く反対の人数をそれぞれ表示し、強く賛成と賛成を足したものを、賛成派率として表した。

### 4.3.1 外国語学習の適性

表1 外国語学習の適性についてのピリーフ

	質 問 項 目	強く 賛成	賛成	どちら でもない	反対	強く 反対	合計	賛成派 率
1	大人より子どものほうが外国語学習が簡単だ。	25	39	5	15	1	85	75.3%
2	外国語を学ぶのに特別な才能を持った人がいる。	43	37	5	0	1	86	93.0%
6	私の国の人々は外国語学習が得意だ。	34	38	12	2	0	86	83.7%
10	すでに外国語が一つできる人は、もう一つの外国語を話すのは簡単だ。	10	32	30	11	3	86	48.8%
19	私には外国語学習の特別な才能がある。	13	41	26	6	0	86	62.8%
36	2つ以上言語が話せる人はとても知的だ。	24	27	25	7	3	86	59.3%
41	誰もが外国語が話せるようになる。	22	30	15	11	8	86	60.5%

本領域において、賛成派率が顕著に高いのは2。「外国語を学ぶのに特別な才能を持った人がいる」(93.0%)と、6。「私の国の人々は外国語学習が得意だ」(83.7%)の2項目である。

## スリランカの大学生の言語学習ピリフから日本語教育の改善を考える

とくに6においては、スリランカはシンハラ語とタミル語が公用語であり、また、英語が多民族をつなぐlinking languageとしての役割を果たしているという環境のためであろう。さらに36.「2つ以上言語が話せる人はとても知的だ」の賛成派率がこの中では比較的低いのも、2つ以上の言語を話すのが当たり前で、学習者は多言語社会で育っているという認識を持っていると思われる。

### 4.3.2 言語学習の困難さ

表2 a 言語学習の困難さについてのピリフ

	質 問 項 目	強く 賛成	賛成	どちら でもない	反対	強く 反対	合計	賛成派 率
3	シンハラ語話者にとって、日本語はほかの外国語より簡単だ。	35	36	11	3	0	85	83.5%
5	私はいつか、日本語が上手に話せるようになるだろう。	33	41	11	1	0	86	86.0%
30	外国語は理解するより話すほうが簡単だ。	10	20	16	29	10	85	35.3%
42	日本語は、話したり理解したりするより、書いたり読んだりするほうが簡単だ。	22	30	15	11	8	86	60.5%

表2 b 言語学習の困難さについてのピリフ

	質 問 項 目	とても 難しい	難しい	ふつう	簡単だ	とても 簡単だ	合計
4	日本語の難易度について	3	14	51	16	2	86

表2 c 言語学習の困難さについてのピリフ

	質 問 項 目	1年以下しか かからない	1～2年 かかる	3～5年 かかる	5～10年 かかる	一日1時間 ではむり	合計
14	一日一時間の外国語学習で、話せるようになるまでに要する期間	15	30	15	4	21	85

本調査の対象者は、全員シンハラ語を母語としている。シンハラ語は、日本語と語順などの文法構造が酷似していると指摘されており（角田1991：238）、その信念が本領域の回答結果に出ていると思われる。賛成派率が特に高いものは3.「シンハラ語話者にとって、日本語はほかの言語より簡単だ」（83.5%）と、5.「私はいつか、日本語が上手に話せるようになるだろう」（86.0%）である。しかし、一方で、日本語の難易度を問う4.においては、「とても簡単である」「簡単である」は全体の19.8%にすぎず、ほかの言語と比較した場合は簡単だといえるものの、日本語だけを考えた場合には簡単であるという意識はさほど高くないようである。

### 4.3.3 言語学習の本質

表3 言語学習の本質についてのピリーフ

	質 問 項 目	強く 賛成	賛成	どちら でもない	反対	強く 反対	合計	賛成派 率
11	日本で日本語を勉強するのがいちばんいい。	52	24	5	3	2	86	88.4%
20	外国語学習でいちばん大切なのは語彙を増やすことだ。	31	43	6	5	0	85	87.1%
27	外国語学習で大切なものは文法だ。	30	36	9	8	1	84	78.6%
32	外国語学習は、他の科目の学習と異なる。	49	23	5	5	4	86	83.7%
33	シンハラ語からの翻訳が、いちばん日本語学習で重要だ。	14	20	24	26	2	86	39.5%

本領域の回答結果から、スリランカの大学生は、語彙と文法の学習が重要であるということは明確に意識しているものの、翻訳の学習に関しては、とくに重要だという意識を持っていないことが、「どちらでもない」の人数の占める割合によりわかる。また、11.「日本で日本語を勉強するのがいちばんいい」は、「強く賛成する」「賛成する」が88.4%と、特に高い賛成派率を示しており、学習環境の重要性を認識していることと思われる。

### 4.3.4 学習とコミュニケーションストラテジー

表4 学習とコミュニケーションストラテジーについてのピリーフ

	質 問 項 目	強く 賛成	賛成	どちら でもない	反対	強く 反対	合計	賛成派 率
7	正しい発音で日本語を話すのは大切だ。	38	37	5	4	1	85	88.2%
9	日本語で正しく言えるようになるまで、口にすべきではない。	5	11	15	26	27	84	19.0%
12	出会った日本人と日本語を実践するのは楽しい。	57	26	3	0	0	86	96.5%
13	日本語の意味を知らなかったら推測してもいい。	7	37	18	13	8	83	53.0%
21	何度もくりかえして練習することは大切だ。	50	35	0	0	1	86	98.8%
25	日本人と話すとき、臆病になる。	4	24	22	20	13	83	33.7%
26	日本語学習の初めの段階で間違いが許されれば、後で修正するのはむずかしい。	17	21	12	18	14	82	46.3%
31	テープを使って練習することは重要だ。	39	36	7	2	2	86	87.2%

本領域で賛成派率が顕著に高いのは、21.「何度もくりかえして練習することは大切だ」(98.8%)、12.「出会った日本人と日本語を実践するのは楽しい」(96.5%)、7.「正しい発音で日本語を話すのは大切だ」(88.2%)、31.「テープを使って練習することは重要だ」

(87.2%)の4項目である。この結果から、スリランカの大学生は実際に日本人とコミュニケーションをとることは楽しいとし、また、日本語の音声面の訓練が重要だと認識していると思われる。一方で、9.「日本語が正しく言えるようになるまで、口にするべきではない」(19.0%)という結果も出ているが、ここから、たとえ誤った表現や発音であっても、コミュニケーションをとることが第一義であるという積極的な姿勢がうかがわれる。この領域の回答結果から、スリランカの大学生は実践的なコミュニケーションの重要性を十分に認識しているといえるのではないだろうか。

#### 4.3.5 言語学習の動機

表5 言語学習の動機についてのピリフ

	質 問 項 目	強く 賛成	賛成	どちら でもない	反対	強く 反対	合計	賛成派 率
28	日本人をよく知るために日本語を勉強したい。	25	44	12	3	2	86	80.2%
35	日本語が上手になれば、いい仕事につく可能性がある。	42	33	8	2	1	86	87.2%
37	日本語が上手に話せるようになりたい。	74	10	2	0	0	86	97.7%
38	日本人の友だちがほしい。	67	15	4	0	0	86	95.3%

本領域の項目はいずれも高い賛成派率を示している。外国語を学習するにあたり、その言語が話されている国やその人々と何らかの形で関わりたいと思うのは自然なことである。スリランカ人は日本人に対して「親切だ」などのプラスのイメージを持っているとの報告もあり(加納1996:90-91)、この結果は予想通りといえよう。

#### 4.3.6 教師の役割

この回答結果から、学習において、全体的に教師依存の傾向が見られる。22.「教師に助けてほしい」(93.0%)、23.「教師に私の苦手なところを教えてほしい」(96.5%)の賛成派率がきわめて高いことから考えると、学習者を助け、学習困難な点を指摘してくれる教師を求めているといえる。また、29.「教師が定期的にテストを実施するのは助けとなる」(89.4%)、44.「教師から宿題が出されるべきだ」(89.4%)の賛成派率が示すように、学習者は教師からの試験や宿題によって学習動機を高めることを望んでいるといえるのではだろうか。しかしながら、外国語習得の責任をすべて教師に任せようという意識までは持っていないことが、50.「もし私の外国語学習が失敗したら、それは教師の責任だ」の賛成派率の低さの示すところである。15.「教師は授業で、なぜ教室活動をするのかいつも説明しなければならない」(58.8%)もこの中の項目では低い。45.「私の好きな方法じゃなくても、教師のアドバイスには従う」(80.2%)の結果とあわせて考えてみると、何のためにその学習活動をするのかわからなくても、教師の言うことには従うという教師依存の意識が現れている。また、51.「私の最初の日

表6 教師の役割についてのピリーフ

	質 問 項 目	強く 賛成	賛成	どちら でもない	反対	強く 反対	合計	賛成派 率
15	教師は授業で、なぜ教室活動をするのかいつも説明しなければならない。	19	31	17	17	1	85	58.8%
16	教師には何をすべきか教えてほしい。	16	46	15	4	3	84	73.8%
18	教師は主に授業で説明して、学生はただ質問されたときにだけ答えればいい。	8	10	5	35	28	86	20.9%
22	教師に助けてほしい。	39	41	5	1	0	86	93.0%
23	教師に私の苦手なところを教えて欲しい。	50	32	3	0	0	85	96.5%
29	教師が定期的にテストを実施するのは助けとなる。	19	57	7	2	0	85	89.4%
44	教師から宿題が出されるべきだ。	31	45	7	2	0	85	89.4%
45	私の好きな方法じゃなくても、教師のアドバイスには従う。	31	38	7	7	3	86	80.2%
50	もし私の外国語学習が失敗したら、それは教師の責任だ。	1	10	18	29	28	86	12.8%
51	私の最初の日本語の先生は、私の日本語学習に大きな影響を与えた。	49	23	7	4	2	85	84.7%

本語の先生は、「私の日本語学習に大きな影響を与えた」(84.7%)の賛成派率の高さからわかるように、スリランカの大学生は、教師の指導に対してよくも悪くも影響されやすいといえる。このことから、初級段階における信頼に足る教師をいかに育成するかということが日本語教育の改善の鍵と言えるのではないだろうか。

#### 4.3.7 教授法・教室活動

表7 教授法・教室活動についてのピリーフ

	質 問 項 目	強く 賛成	賛成	どちら でもない	反対	強く 反対	合計	賛成派 率
17	積極的に参加できる教室活動がたくさんある授業が好きだ。	38	34	10	3	0	85	84.7%
39	私は講義を聴くのが好きなので、学生を話させようとする教師の授業にはあわない。	3	17	29	25	11	85	23.5%
40	私は試験のための知識を得たいので、教室活動は時間の無駄だと思う。	4	5	14	40	22	85	10.6%
46	シラバスは学生のコミュニケーション能力促進に焦点をさぼるべきだ。	50	31	3	2	0	86	94.2%



本領域のいずれの項目の回答からも、学習者はよりコミュニカティブな教室活動を望み、コミュニケーション能力を高めるための教授法を期待していることがわかる。とくに、46.「シラバスは学生のコミュニケーション能力促進に焦点をさぼるべきだ」の賛成派率の高さ、「強く賛成」の人数には顕著なものがある。434の調査結果とあわせてみても、納得のいく結果であるといえよう。

#### 438 媒介語

表8a 媒介語についてのピリフ

	質 問 項 目	強く 賛成	賛成	どちら でもない	反対	強く 反対	合計	賛成派 率
47	シンハラ語で文法を説明する必要はない。	10	22	26	16	12	86	37.2%
48	辞書を引くことは、言葉の意味を知るうえでいちばんいい方法だ。	32	31	12	11	0	86	73.3%
49	外国語学習では、シンハラ語の文法説明書が必要だ。	6	25	16	26	12	85	36.5%

表8b 媒介語についてのピリフ

	質 問 項 目	初級だけ	中級まで	上級まで	合 計
24	もし、シンハラ語で文法説明するならどのレベルまでか。	46	28	12	86

本調査の調査対象者はすべて、シンハラ語母語話者である。現在、シンハラ語による初級文法解説書はスリランカ国内においても出版されていないが、学習者もさほど必要としていないということがこの回答結果により明らかになった。また、24.「もしシンハラ語で文法説明するならどのレベルまでか」という質問項目に対しては、「上級まで必要だ」という回答が86人中12人(13.9%)と低く、教師によるシンハラ語の文法説明も、上級になるとあまり必要ないと考えているようである。ただし、47.「シンハラ語で文法を説明する必要はない」では、賛成派・どちらでもない・反対派がほぼ均等にわかれており、学習者のピリフの統一した傾向がないことがわかる。

#### 439 言語学習と文化の関係について

本領域は各項目をみると、いずれの項目も賛成派率が半数を超えてはいるがとりたてて高くもない。しかし、すべての項目の「賛成」の人数がもっとも多く、また、「どちらでもない」を賛成派率に含めるといずれも80%を超える。スリランカには、公的な日本文化センターといえるものがなく、以前からその設立が望まれている(井上1999:151)。この回答結果からは、文化学習が日本語学習に必要なか、という観点からも、日本文化に触れることが日本語学習に役立つと学習者が考えているといえるだろう。

表9 言語学習と文化の関係についてのピリーフ

	質 問 項 目	強く 賛成	賛成	どちら でもない	反対	強く 反対	合計	賛成派 率
8	日本語を話すために、日本文化について知ることは必要だ。	15	31	23	16	1	86	53.5%
34	茶道、華道、折り紙、日本舞踊、日本画など、日本の伝統文化を学ぶことは日本語学習に役立つ。	24	36	14	9	3	86	69.8%
43	食べ物や地理や建築など、日本人のライフスタイルを知ることは日本語学習に大切だ。	21	46	14	3	2	86	77.9%
52	日本のポップミュージック、映画、漫画などのサブカルチャーを知ることは日本語学習に役立つ。	16	40	21	6	3	86	65.1%

## 5. まとめと考察 どのような改善が必要か

調査の結果からまとめられる、スリランカの大学生の言語学習ピリーフの傾向は次のとおりである。

- (1) 自国の学習者についても、また、自身についても、外国語学習にかなり自信を持っている。特に日本語は他の言語よりも容易に学習できると考えている。
- (2) コミュニケーション能力の向上を重視し、そのための教授法や教室活動を望んでいる。
- (3) 教師依存の傾向が強く、外国語学習において教師とその教授法に対して信頼と期待を寄せている。
- (4) 日本語学習において、母語であるシンハラ語を媒介語として使用することを必要としていない。シンハラ語による文法解説もとくに望んではいない。
- (5) 日本文化学習が日本語学習の一助になると考えている。

この結果から、以下、どのような改善が必要であるかを考察する。

スリランカの日本語教育の問題点として、井上(1999:149-151)は、次の点をあげている。

- ①日本語教師、とくにAレベル教師の待遇が不安定で、経済的な自立が困難である。
- ②Aレベル試験に合格しただけ、日本語能力試験3級に合格しただけで教壇に立っている教師が多く、日本語教師の日本語運用能力が問題視されている。
- ③スリランカの教授法は文法訳読法が中心で、コミュニカティブな教授法の必要がある。
- ④日本文化に対する関心が高いものの情報が少ない。日本文化センターといえるものがない。
- ⑤スリランカで出版されている日本語の教材で使用に耐えうるものは前述の「Pupil's book for Japanese G.C.E.A/L」を除き、辞書を含め皆無に近い。

これらの指摘に関し、実際に現場に立つ筆者の観察では、②においては、大学などの高等教育機関の教師は少なくとも日本語能力試験2級以上の運用能力が要求され、また、中等教育に

においても少しずつだが2級取得者の教師が教えるケースが増えつつあるように見られる。⑤においても、その後、『基礎日本語学習辞典シンハラ語版』（国際交流基金日本語国際センター2000）が出版されたり、『日本語初歩』が現地の出版社により出版される<sup>(5)</sup>など、2006年現在で、ある程度の改善が見られる。

しかし、その他の点に関しては、改善されているとは言いがたい。⑤に関しても、ある程度改善されたとはいえ、スリランカ国内で、スリランカ人の教師や研究者の手によって開発、制作され出版された「使用に耐えうる」教材はいまだにない。

Horwitz（1987）は、学習者のビリーフと実際の教授法・教室活動のずれは学習到達を妨げると指摘している。そこで問題視されるべきは、これらのスリランカの日本語教育の問題点と、今回のビリーフ調査の結果とのギャップである。学習者は、コミュニケーション能力の向上を重視し、それに焦点をおいたシラバスや教授法、教室活動を求めているが、現実には、とくに今回の調査対象者が経験してきた中等教育レベルの教育現場では文法訳読法中心の授業が展開されている。学習者は教師や教師の指導法に全面的な信頼を寄せているが、その教師の日本語能力が高いとはいえない。したがって、誤った知識をそのまま継承していく可能性がある。日本文化に高い関心を持っており、それが日本語学習に役立つと考えているが、それらに触れる機会は少ない。

これらの学習者のビリーフと現状のギャップをどのように埋めていくかが今後のスリランカにおける日本語教育の課題となるだろう。そのために考えられる改善の方策を以下にあげる。

- 1) 信頼に足る日本語能力を持った日本語教師の養成
- 2) コミュニケーション能力育成に焦点をおいた教授法導入のための教師研修
- 3) さまざまな日本文化に触れる機会の提供

今後は具体的に、どの機関が、どんな方法で実施していかなければならないか、ということを考えなければならないだろう。

## 6. おわりに

以上、スリランカの大学生を対象に実施した言語学習ビリーフ調査の結果をもとに、スリランカの日本語教育の現状と照らし合わせて、どのような改善が必要かということを考察した。むろん、学習者のビリーフどおりに教授活動を行いさえすれば、それが学習の成功につながることは断言できない。このビリーフ調査の結果はあくまでも教授法や教室活動の開発の参考材料である。

またHorwitz（1987）は、ビリーフが学習ストラテジーに影響を与えることを示唆しているが、筆者の個人的な観察では、この調査に現れた学生のビリーフがそのまま学習態度に反映されているかと言えば疑問である。たとえば、12.「出会った日本人と日本語を实践するのは楽

しい」という質問項目では賛成派率が96.5%と高いが、かといって、筆者の観察では、出会った日本人と日本語で話そうという積極性がスリランカ人学生に見られるか、と聞かれればそうとはいえない。橋本(1993)がBALLI討論を行ってピリーの意識化を図ったように、アンケート調査を行うだけでなく、学習促進のためのフォローアップも必要であろう。

いずれにしても、この調査結果が、スリランカ人学習者に適した教授法、教室活動の開発の一助となり、ひいてはスリランカの日本語教育全体の改善につながるデータのひとつとなることを期待したい。

#### [注]

- (1) 「海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査・2003年 概要」(国際交流基金)による。
- (2) G.C.E.(Advanced Level) Examination 2005 National Evaluation and Testing Service, Department of Examinations, Sri Lankaの発表による。
- (3) 英語は、スリランカの公用語であるシンハラ語、タミル語の間の公的なlinking languageとされているため、ここでは外国語科目として考えない。
- (4) ケラニア大学では第1学年～第3学年で『文化中級日本語』(文化外国語専門学校編 1994)、サバラガムワ大学では第1学年で『日本語表現文型中級』(筑波大学日本語教育研究会編 1983)、第2・第3学年で『テーマ別中級から学ぶ日本語』(松田ほか 2003)を使用。
- (5) Vijitha Yapa Publicationsより2005年出版。

#### [参考文献]

- 板井美佐(2000)「中国人学習者の日本語学習に対するBELIEFSについて 香港4大学アンケート調査から」『日本語教育』104号、69-78、日本語教育学会
- 井上亜子(1999)「スリランカにおける日本語教育の現状と課題」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第5号、137-153、国際交流基金日本語国際センター
- 片桐準二(2005)「フィリピンにおける日本語学習者の言語学習Beliefs」『国際交流基金日本語教育紀要』第1号、85-101、国際交流基金
- 加納満(1996)「多言語社会スリランカにおけるシンハラ人日本語学習者の言語態度」『長岡技術科学大学言語・人文科学論集』第10号、83-95
- 木谷直之(1998)「極東ロシアの大学生の言語学習観について 海外日本語教師研修のための基礎データ作成を考える」『日本語国際センター紀要』第8号、95-109、国際交流基金日本語国際センター
- 角田太作(1991)「日本語教育のための基礎資料としてのテスト」、日本語教育学会編『日本語テストハンドブック』第6章、222-239、大修館書店
- 橋本洋二(1993)「言語学習についてのBELIEFS把握のための試み BALLIを用いて」『日本語教育論集』8号、215-241、筑波大学留学生センター
- 若井誠二/岩澤和宏(2004)「ハンガリー人日本語学習者のピリーフス」『日本語国際センター紀要』14号、123-140、国際交流基金日本語国際センター
- Cotterall, Sara(1995)“Readiness for Autonomy: Investigating Learner Beliefs”, *System*, Vol. 23, No. 2, 195

Horwitz, Elaine (1987) "Surveying Students Beliefs About Language Learning". In Wenden A. and Rubin J. Eds, *Learner Strategies in Language Learning*. pp. 119-129. London: Prentice Hall

Miyagishi, Tetsuya / Kamura, Nobuko (1996) *Pupil's book for Japanese G.C.E.A/L*, National Institute of Education, Maharagama

(参照) 今回の調査に使用したBALLI質問紙

Questionnaire for Japanese learning

Age: \_\_\_\_\_

Sex: M F

How long have you been learning Japanese? \_\_\_\_\_ Year(s) \_\_\_\_\_ month(s)

.....  
Below are beliefs that some people have about learning foreign languages. Read each statement and then decide if you:

(1) strongly agree (2) agree (3) neither agree nor disagree (4) disagree (5) strongly disagree

There are NO right or wrong answers. We are simply interested in YOUR opinions.

Mark each answer on (1)..(2)..(3)..(4)..(5) Questions 4, 14 & 24 are slightly different and you should mark them as indicated.

REMEMBER:

(1) strongly agree (2) agree (3) neither agree nor disagree (4) disagree (5) strongly disagree

.....  
1 . It is easier for children than adults to learn a foreign language.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

2 . Some people have a special ability for learning foreign languages.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

3 . For Sinhala speakers, Japanese is easier to learn than other languages.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

4 . Japanese is: (a) a very difficult language (b) a difficult language

(c) a language of medium difficulty (d) an easy language

(e) a very easy language.

(a)..(b)..(c)..(d)..(e)

5 . I believe that I will learn to speak Japanese very well.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

6 . People from my country are good at learning foreign languages.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

7 . It is important to speak Japanese with an excellent pronunciation.

- (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 8 . It is necessary to know about Japanese culture in order to speak Japanese. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 9 . You shouldn't say anything in Japanese until you can say it correctly. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 10 . It is easier for someone who already speaks a foreign language to learn another one. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 11 . It is best to learn Japanese in Japan. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 12 . I enjoy practicing Japanese with Japanese person I meet. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 13 . It's OK to guess if you don't know a word in Japanese. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 14 . If someone spent one hour a day learning a language, how long would it take them to speak the language very well:  
(a) less than a year (b) 1 2 years (c) 3 5 years (d) 5 10 years  
(e) you can't learn a language in 1 hour a day (a)..(b)..(c)..(d)..(e)
- 15 . The teacher should always explain why we are doing an activity in class. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 16 . I like the teacher to tell me what to do. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 17 . I like the class that is full of activities so that I can participate in it actively. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 18 . Teachers should explain mainly in the class, and students should speak only when they are asked to answer. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 19 . I have a special ability for learning foreign languages. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 20 . The most important part of learning a foreign language is learning vocabulary words. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 21 . It is important to repeat and practice a lot. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 22 . I like the teacher to offer help to me. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 23 . I like the teacher to tell me what my difficulties are. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 24 . If the grammar is explained in Sinhala...  
(a) only beginner's level (b) from beginner's level to intermediate  
(c) from intermediate level to advanced (a)..(b)..(c)
- 25 . I feel timid speaking Japanese with other people. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)
- 26 . If beginning students are permitted to make errors in Japanese, it will be difficult for them to speak correctly later on. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)

スリランカの大学生の言語学習ピリフから日本語教育の改善を考える

- 27 . The most important part of learning a foreign language is learning the grammar. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 28 . I would like to learn Japanese so that I can get to know Japanese people better. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 29 . I find it helpful for the teacher to give me regular tests. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 30 . It is easier to speak than understand a foreign language. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 31 . It is important to practice with cassettes or tapes. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 32 . Learning a foreign language is different than learning other academic subjects. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 33 . The most important part of learning Japanese is learning how to translate from Sinhala. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 34 . To learn Japanese language, it is useful to know traditional Japanese culture such as tea ceremony, flower arrangement, paper folding ( origami ) Japanese dance, paintings and so on. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 35 . If I learn Japanese very well, I will have better opportunities for a good job. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 36 . People who speak more than one language are very intelligent. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 37 . I want to learn speak Japanese well. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 38 . I would like to have Japanese friends. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 39 . Because I like listening to lectures, I am not suitable to the class where teachers urge students to speak. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 40 . Because I want to learn the knowledge for the exams, it is waste of time to do the activities in the class. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 41 . Everyone can learn to speak a foreign language. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 42 . It is easier to read and write Japanese than to speak and understand it. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 43 . To learn Japanese language, it is important to know Japanese lifestyle and customs concerned with food, geography, architecture, and so on. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 44 . Homework should be given by teachers to the students. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 45 . I will obey my teacher's advice even if it doesn't suit my favorite way. ( 1 ) . ( 2 ) . ( 3 ) . ( 4 ) . ( 5 )
- 46 . The syllabus should focus on developing the communication abilities of the students.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

47 . It is no need to explain the grammar in Sinhala. (1)..(2)..(3)..(4)..(5)

48 . Looking up the dictionary is the best way to find out the meaning of the word.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

49 . To learn a foreign language, a textbook which explains grammar in Sinhala is necessary for me.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

50 . If I should fail to make progress in language learning, teachers are to blame.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

\*51 . My first teacher of Japanese had big influence on my Japanese learning.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

52 . To learn Japanese language, it is useful to know Japanese subculture such as Japanese popular music, Japanese films, comics and so on.

(1)..(2)..(3)..(4)..(5)

Thank you for your co operation.

注\*質問項目51は、調査を行う際、「最初の日本語の教師」であって「最初の日本人の教師」ではないということを口頭で説明、確認した。